

平成22年12月13日
国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所

～ お 知 ら せ ～

建設ICT現場見学会について

～砂防工事での新たな試み～

1. 概 要

国土交通省中部地方整備局が進める情報通信技術（ICT）を活用した試行工事の見学会が、工事施工業者を対象に下記の予定で開催されますのでお知らせします。

（参考：中部地方整備局HP：<http://www.cbr.mlit.go.jp/kensetsurict/>）

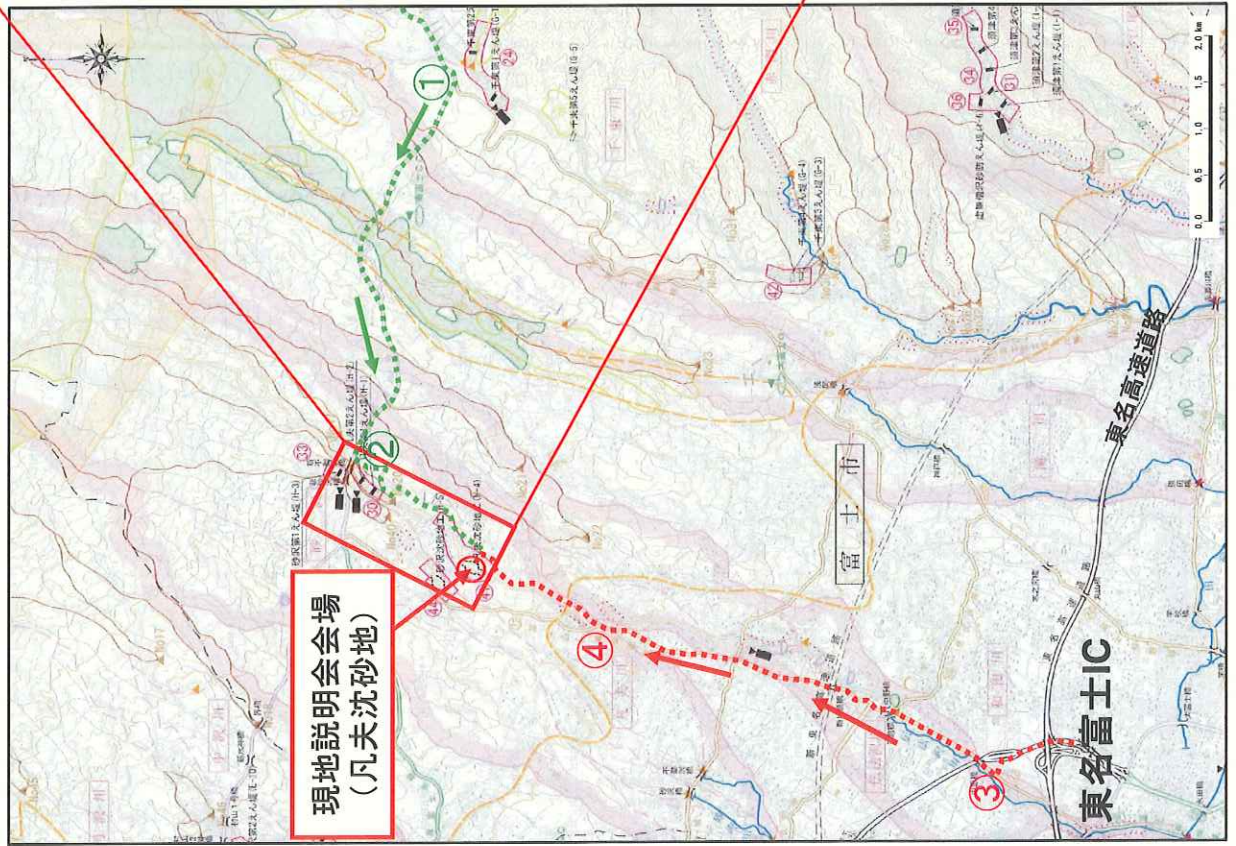
なお、報道関係の方にも対応を致しますのでご希望の方は、下記の問い合わせ先まで事前にご連絡願います。

2. 日 時 平成22年12月15日（水）13：15～16：00
小雨決行、雨天の場合は16日（木）に延期します。
3. 場 所 富士市大淵地先、平成22年度富士山凡夫沈砂地護岸工事現場内
（案内図：別紙）
4. 配 布 先 富士宮市記者クラブ、富士市記者クラブ、富士吉田市記者クラブ
5. 問い合わせ先 富士砂防事務所富士宮砂防出張所
出張所長 羽切正好、又は技術係長 芝 昌一
TEL 0544-54-0236
FAX 0544-54-0999
6. お 願 い 現場へは動きやすい服装、運動靴等の滑りにくい履き物でおこし下さい。
・ヘルメット及び軍手は当方でも用意できます。
・工事現場内は危険箇所もありますので、当方職員等の指示に従って行動して頂きます。

【活用する情報通信技術は？】

情報通信技術であるマシンガイダンスシステムを予め掘削機械（油圧ショベル）に取り付けることにより、丁張りを設ける必要はなく、オペレータが操作画面から得られる情報を基に掘削面を仕上げる事が出来る技術です。また、仕上げた掘削面の出来形管理に、情報通信技術であるトータルステーションを活用することにより従来のように巻き尺を利用せず計測出来る技術です。これらの技術により大幅に施工の合理化が図られます。

案内図



現地説明会場
(凡夫沈砂地)

東名富士IC

現地説明会場
(凡夫沈砂地)



至
御殿場

至 富士IC 撮影:平成22年3月

御殿場方面から来られる方(緑色破線)

国道469号→①県道24号交差部右折→約4.7km走行→②左折→約2.1km走行→右側現場入口

東名富士IC方面から来られる方(赤色破線)

東名富士IC→西富士道路→広見ICおろる→③信号右折→約4.7km走行→④右折→約1.5km走行→左側現場入口

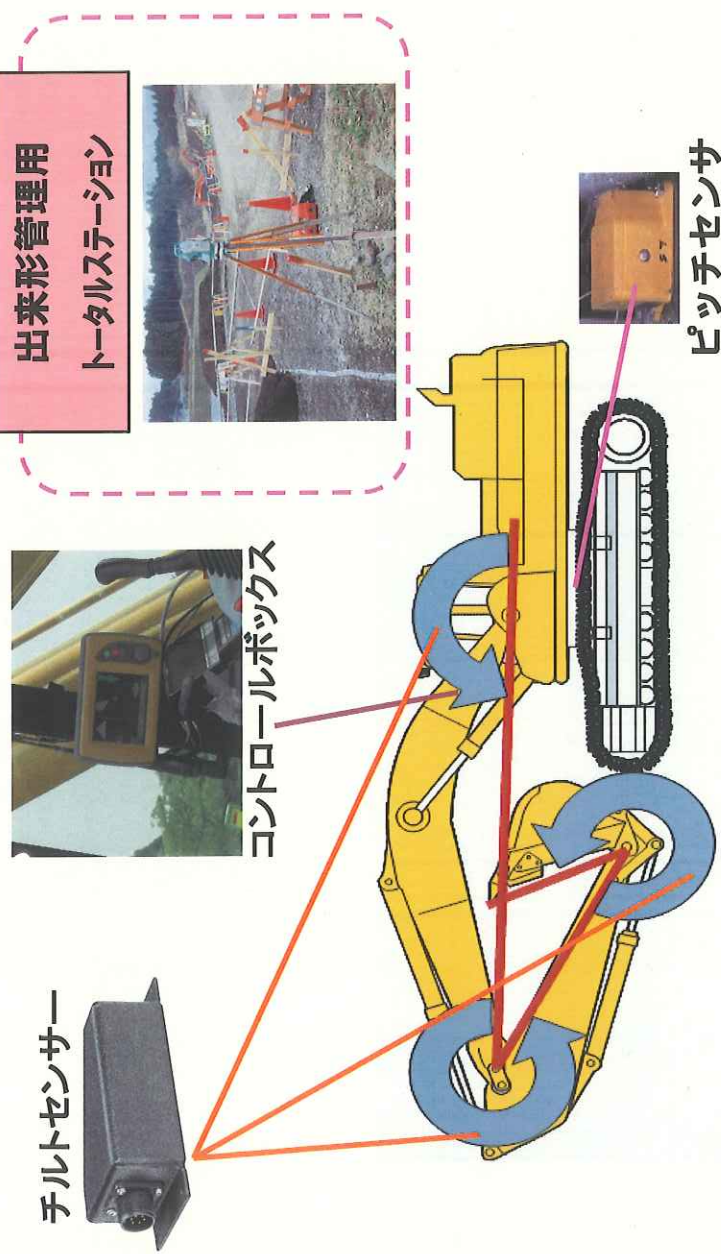
建設ICT

～Information and Communications Technology～

- 調査・設計・施工・維持管理・修繕の一連の建設生産システムにおいて、コンピュータや通信技術などを導入し、効率化・高度化など生産性向上に寄与する情報通信技術を「建設ICT」といいます。

マシンガイダンス(MG)技術とは？

人工衛星(Global Navigation Satellite)とセンサー等の組み合わせで、建設機械作業装置の位置、標高を取得後、設計データを算出してオペレータに提供します。オペレータはその情報に基づいて操作レバーを動かすことが出来ます。



マシンガイダンス導入のメリット

- 杭(丁張り)の削減
- 安定した施工品質の確保
- 人的作業ミスの削減
- 熟練不要
- 施工スピードの向上
- 材料(コスト)の削減
- 複雑な地形も簡単な地形と同じ時間で施工可能
- 夜間作業など視認性が悪い現場での作業性向上
- 安全性の向上(検測作業の減少による接触事故防止)
- 検査工程の削減

図：バックホウのマシンガイダンス概略図